



柏大樹

風雪に耐え、力強く成長する柏大樹のように、私たちも堂々と心豊かに生きていこう

発行
紋別市立渚滑中学校
令和7年12月19日
第9号



学校HP

校長 石川晃生

大人として伝えられること

昨日、道徳の授業を校長が全校生徒を相手に行うという場面がありました。普段は先生方がかわるがわる学級単位で行うという形をとっていますが、何かのめぐりあわせ(?)で、実現に至りました。

子どもたちの「生命の尊さ」という内容で授業をすることになりました。「命は大事」だということは頭の中では誰でもわかっていることだと思うので、これをいかに実感・体感させ、心底に浸透させる術を考えながら、子どもたちに授業をしました。子どもたちにはどれほど残ったでしょうか。

多分ご家庭でも折に触れ、「生命の尊さ」にかかわるお話は出てきていることだと思います。しかし、文科省の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」によると、令和6年度に自殺した児童・生徒の人数は前年度より16人多い413人であり、校種は小学生7人、中学生112人、高校生294人という悲しい結果が出ております。この人数は多い少ないということに一喜一憂するというものではなく、ゼロにしなければならない人数です。

「ゼロにするため、子どもたちにどうかかわるのか。」、「理由があるにせよ最終的に自殺という選択を子どもだけではなくすべての人間が絶対にしてはならないということをどうわかつてもらうか。」、「人間の命はすべて重いし尊い。」、「当たり前だが未遂もあり得ない。」…。我々大人は、道に迷っている、あるいは迷う前の子どもたちに人生の先輩としてしっかりと子どもたちに考えさせる必要があるのではないでしょうか。

先日、ある新聞の社説に自殺に関して書かれた以下の内容が私の目にとまりました。

…(略)家庭や学校で、折に触れて「今考えていることが絶対ではない」ことを伝えることが、抑止の一助となるのではないか。考えも環境も状況も絶対不变ではなく、物事は常に変化していくことを伝えることで、考え方直す契機となることが期待できる。

子どもたちには少なく、大人に多くあるものは人生経験である。

大人だからこそ、小・中学校、高校に在籍する10年余りの年月が、人生の一部分であることを伝えることができる。平均寿命が90歳に近づいた今、人生を野球に例えるなら9回のうち2回裏も終わっていない。始まったばかりなのだ。

人は希望を失ったときに絶望する。人生は始まったばかりで、生きる喜びは必ず巡ってくると子どもたちに希望の言葉を届けたい。

「万物は流転する」の言葉通り、全てのものは一所にとどまり続けることなく変化し、苦しみもまた過ぎ去る。人生経験を重ねた大人が確信を持って語る「希望」は、苦しみもがいている子どもたちにとって生を照らす、一条(ひとすじ)の光となり得るかもしれない。

令和7年が終わろうとしております。本年も本校の教育にご理解・ご協力いただき心よりお礼申し上げます。どうぞ皆様、良いお年をお迎えください。



12.4 「総合的な学習の時間より」

総合的な学習の時間【後期～福祉健康学習～】

高齢者と 共にいきいき生きる



乳幼児と 明るくいきいき生きる



障がいのある人と 共にいきいき生きる



後期の『総合的な学習の時間』がスタートしました。3つのテーマから選択し、「何を探求したいか」を深めていきます。上の写真は、講義・体験活動の様子です。1月には仮説を検証するために校外学習を行います。「自分たちに何ができるかを考えることを見つけるために一人ひとりが問いをもち、仲間と協力しながら学びを広げていきます。

冬季休業について

20日より冬季休業になります。
冬季休業中の「学校閉庁日」につきましてはtotoruにてお知らせしておりますのでご確認ください。なお、生徒の生命や安全に関わる重大事態の場合は、まず警察または救急等へご連絡ください。

明日からの冬休みが充実した期間となるよう、事故や怪我、そして雪害による被害に遭われないようお過ごしください。

1月			2月			3月		
15	木	始業式	2	月	新入生入学説明会	4	水	公立高校入試(学力) 後期期末テスト(1・2年)
16	金	後期期末テスト(3年) 英語検定	3	火	スキー授業③	5	木	公立高校入試(面接)
20	火	専門委員会(後期④) スキー授業①	4	水	学力テスト (全学年・3年模試)	6	金	スポーツ大会
21	水	ジョイクラ	6	金	参観日	10	火	予餞会
22	木	漢字検定	10	火	ジョイクラ	11	水	卒業証書授与式総練習 公立高校追試験
27	火	スキー授業②	11	水	建国記念の日	12	木	卒業証書授与式準備
30	金	特別支援学校高等部入選	16	月	1・2年CRT	13	金	卒業証書授与式
20	金	Hyper-QU3回目(1・2年)	17	火	公立高校合格発表			
23	月	天皇誕生日	19	木	専門委員会			
26	木	専門委員会(後期反省)	20	金	春分の日			
			24	火	修了式/離任式			

行事予定

